

民間活力の導入で 市街地整備を

公明党津山市議団 川端 恵美子



質問 中心市街地はこの十年間で二十
三%も人口減少し高齢化率は約三
十五%になるなどますます進展し
ている。要因をどう分析している
のか。

答弁 昭和四十、五十年代に市街地の
拡大を図る政策によって良好な住
宅地整備が進められ住宅や公共施
設が郊外へ転出したことが要因と
考える。

質問 まちづくり交付金事業で十一種

類の事業を計画しているが商店街
活性化にどのような影響があるのか。
答弁 この事業では中心市街地の再整
備のためにハード・ソフト事業を
計画している。今後土地所有者な
ど民間活力導入で関係者の喚起を
促したい。

質問 中心部の空洞化を防ぎ居住人口
の増加を計る政策はあるのか。

答弁 中心部の公営住宅整備は重要な
政策であり総合計画で調査研究する。

地域ブランド戦略について

津山新星会議 吉田 耕造



質問 合併後の地域資源に見合った、
産業施策として地域ブランド開発
とマネジメントが不可欠である。
流通センターと久米団地の誘致は、
豊富な水交通アクセスの良さ・海
辺で無い・下水道完備など地域間
競争に勝ち得る条件と考える。

答弁 今以上の情報ネットワークとタ
イムリーな企業訪問が必要である。
質問 新津山市観光ビジョン策定メン

バーに、築城四百年実行委員会メ
ンバーの参加を要請すべきである。
答弁 ワーキンググループについては
公募も考えている。
質問 県北唯一のスポーツ施設である
アイランド津山の本年度開催は
可能か。人工芝を張り多目的に利
用しスポーツの地域ブランドにな
るのでは。

答弁 県と協議し利活用を研究したい。

津山和牛ブランド化の 取り組みを

新風会 森岡 和雄



質問 第四次総合計画に(合併協定書
通り)新市建設計画を盛り込んで
頂きたい。

答弁 第四次総合計画は、新市のまち
づくりの長期ビジョンを示す重要
な計画であり、合併に先立って策
定した市町村ごとの熱い思いが盛
り込まれた新市建設計画を踏まえ、
各地域の特性を活かした融和連携
を図る施策と事業を盛り込んだ計

画としてまいりたい。
質問 津山和牛のブランド化を目指し
てはどうか。

答弁 私は、常々、津山和牛のブラン
ド化を目指して取り組みを指示し
ている。津山には屠場があり、ゼ
ヒ関係者が力をあわせ津山和牛の
ブランド化をはかり、津山の顔を
作りましょう。

小中学校補修の積み残しは

津山新星会議 佐々木 裕子



質問 津山市の年間学校補修費はいく
ら計上されていて、一校平均いく
らあるのか。

答弁 平成十七年度の年間予算は中学
校八校に九百五十二万六千円で、
一校当たり百一十万円。小学校二
十八校で二千五百六十九万円で、
一校当たり九十九万円となっている。
質問 各学校から毎年出されている修
理要望の積み残しはどれくらいあ

るのか。
答弁 危険なもの、緊急を要するもの
については財政と協議の上対応し
ている。今までの積み残しは億円
単位になるであろう。

質問 基金を取り崩しても、早急に
修理を行う必要があるのではない
か。財政部長の所見は。
答弁 教育委員会と協議して緊急度合
いの高いものは対応する。